

Annual Report

2021

北上信用金庫

北上信用金庫のミニディスクロージャー

まるみえ

見えしんきん

みちのく民俗村

北上川流域とその周辺の茅葺民家を移築復元した東北有数の野外博物館「みちのく民俗村」。村内の至る所には様々な木々や草花が植えられ、四季折々の表情を楽しむことができる。

この街と生きていく。



北上信用金庫



信用金庫イメージキャラクター
信ちゃん鬼剣舞 Ver

業績のご案内

◆ 預金積金及び貸出金の状況

■ 預金の状況

2021年9月期の預金積金残高は、前年同月比730百万円減少の105,852百万円となりました。

預金積金残高のうち個人預金が67.3%を占めております。

■ 貸出金の状況

2021年9月期の貸出金残高は、前年同月比2,463百万円増加の51,541百万円となりました。

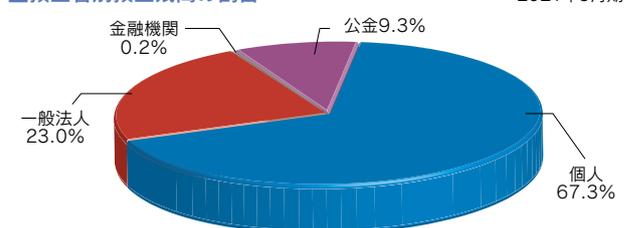
また、特定先や特定の業種にかたよることなく、幅広く貸出を行うことで地域の発展や活性化に活かされるよう努めております。

■ 預金積金・貸出金残高の推移

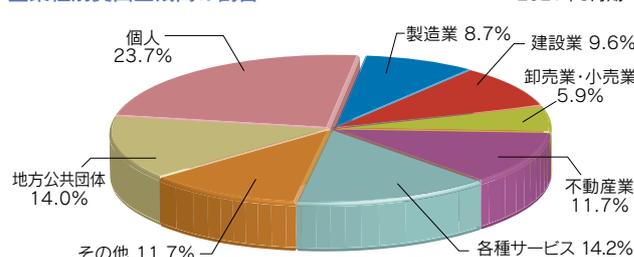


地元のお客様よりお預入れいただいた大切なお預金は地元で事業を営む事業者や個人のお客様にご融資することで、地域社会に還元しております。

■ 預金者別預金残高の割合

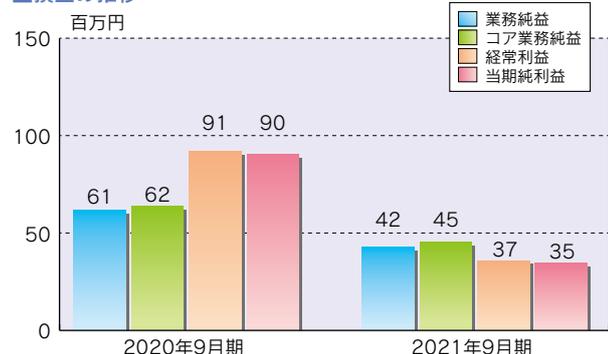


■ 業種別貸出金残高の割合



◆ 損益の状況

■ 損益の推移



安定した収益の確保に努めております。

本業の利益を示す業務純益は42百万円、コア業務純益は45百万円（投資信託解約損益を除くコア業務純益は45百万円）となったほか、経常利益は37百万円、当期純利益は35百万円を計上しました。

地元の事業者や個人のお客様の資金需要にお応えするとともに、各種リスク管理を徹底し、今後も安定的な収益確保に取り組んでまいります。

※「業務純益」とは、金融機関の利益を見るうえでの重要な指標で、預金・貸出金や為替業務等金融機関本来の業務から生まれた利益です。

※「コア業務純益」とは、業務純益から国債等債券損益を除いたものです。

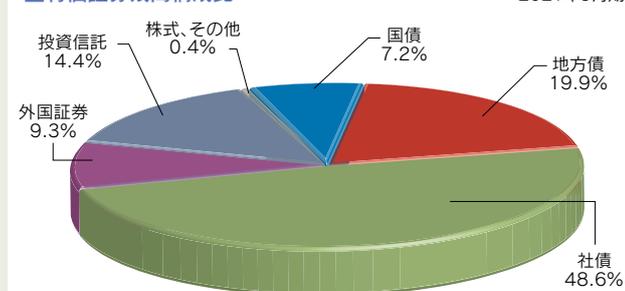
※「経常利益」とは、業務純益に貸出金償却、貸倒引当金繰入額等の臨時損益を加減したものです。

※「当期純利益」とは、経常利益に特別損益を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

◆ 有価証券の時価情報

お客様からお預かりしております預金積金は貸出金のほか、有価証券等で運用しております。資金の公共性に鑑み、安全性や収益性に留意し、国債をはじめ、公社債等で運用しております。

■ 有価証券残高構成比



市場関連リスクを考慮し、安全な運用に心がけております。

■ 満期保有目的の債券

	2021年9月期 (単位: 百万円)			
	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	1,734	14	71	57

1) 「差額」は、貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。

2) 時価は、2021年9月末における市場価格等に基づいております。

■ その他有価証券

	2021年9月期 (単位: 百万円)			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	26,264	334	478	143
株式	1	△1	-	1
債券	19,902	249	284	35
その他	6,359	87	193	106

1) 貸借対照表計上額は、2021年9月末における市場価格等に基づいております。

2) 上記の「その他」は、信金中央金庫の優先出資証券、日高見ファンド、投資信託及び外国証券です。

3) 「評価差額」は取得原価(償却原価)と貸借対照表計上額との差額を計上しております。

■ 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

該当ございません。

■ 売買目的有価証券

該当ございません。

■ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

	2021年9月期 (単位: 百万円)	
	貸借対照表計上額	
その他有価証券 非上場株式		9

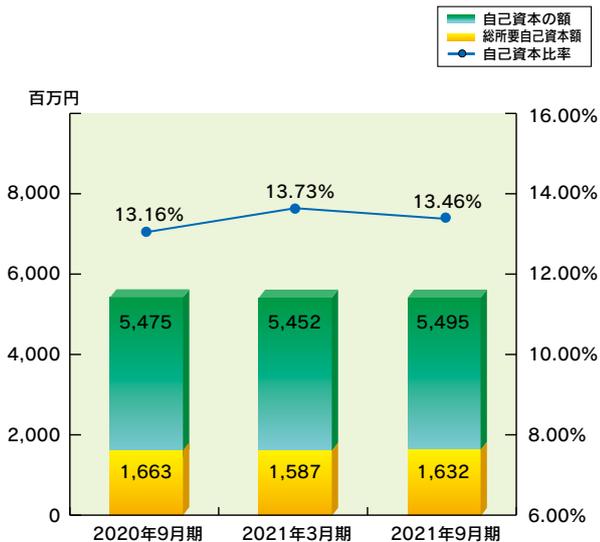
自己資本の充実の状況等について

◆自己資本の充実の状況

自己資本比率は、経営状況を把握する重要な指標です。

当金庫の2021年9月期自己資本比率は13.46%と、国内基準の4%、国際基準の8%を超えた高い水準を維持しております。十分な健全性を確保しておりますので、皆様に安心してお取引いただける経営内容となっております。

■自己資本額・総所要自己資本額・自己資本比率の推移



体力には自信があります。

■自己資本に関する事項

(単位: 百万円)

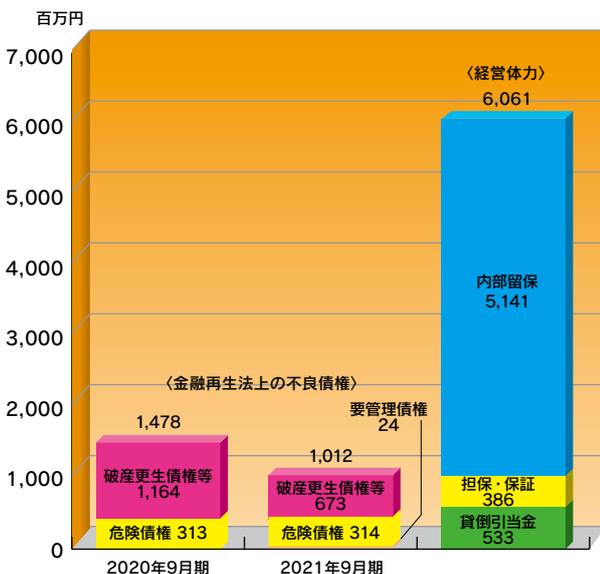
項目	2021年3月期	2021年9月期
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	5,664	5,704
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	212	209
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	5,452	5,495
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	39,687	40,816
自己資本比率 (ハ)/(ニ)	13.73%	13.46%
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,498	1,543
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	89	89
単体総所要自己資本の額	1,587	1,632

(注) 「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

- ※「コア資本」とは、会員の皆様からお預かりしている出資金や、一般貸倒引当金などが該当します。
- ※「リスクアセット」とは、オンバランス・オフバランスの各資産項目にリスク・ウエイト(資産ごとにリスクの度合によって定められた掛目)を乗じて算出した額で、自己資本比率の分母になります。
- ※「オペレーショナル・リスク」とは、金融機関の業務の過程、役職員の活動、もしくはシステムが不適切である事などにより損失を被るリスクのことです。当金庫では基礎的手法を採用して算出しております。
- ※「総所要自己資本の額」とは、自己資本比率分母の額に4%を乗じて算出した額のことです。

◆金融再生法ベースの債務者区分による開示

■金融再生法上の不良債権と経営体力



資産の健全性向上を図っております。

当金庫の金融再生法開示による不良債権は、前年同月比465百万円減少しました。また、不良債権比率は1.04ポイント低下して1.96%となりました。

これらの不良債権は、担保・保証や貸倒引当金により90.83%保全されているほか、内部留保を加えた経営体力6,061百万円によりカバーされております。

- ※金融再生法開示債権は、「貸出金」に加え、「債務保証見返」「未収利息」「仮払金」を対象債権としております。
- ※2021年9月末時点で実施した自己査定に基づき、金融再生法ベースで開示しております。
- ※「破産更生債権等」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- ※「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。
- ※「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

北上信用金庫 SDGs 基本方針

北上信用金庫は、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の理念に賛同し、地域金融機関としての経営理念に基づき、「経済」「社会」「環境」の各分野において地域の特性を活かした取組みを進め、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

地域経済の活性化

お客様の課題解決支援やお客様本位の商品・サービス提供を実践し、地域経済の活性化に積極的に取り組んでまいります。

地域社会への貢献

地域の一員として積極的に地域貢献活動に取り組み、豊かな地域社会の実現を目指してまいります。

地域環境の保全

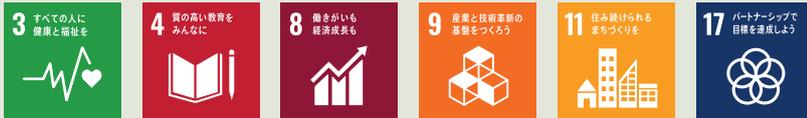
役職員全員が環境に配慮した活動や商品・サービスの提供を行うことにより地域環境の保全に取り組んでまいります。



SDGs「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」です。「誰も置き去りにしない」という基本理念の元、2030年までに達成を目指す世界共通の目標として、17のゴールと169のターゲットが定められています。この目標達成に向けて、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、個人一人ひとりに役割があり、それぞれが協力・連携することが求められています。

地域経済の活性化



■ 課題解決型金融の実践

- ・ 各種補助金の申請支援
- ・ 経営者セミナーの開催
- ・ きたしん次世代経営塾の開催
- ・ 若手リーダー強化セミナーの開催
- ・ 創業セミナーの開催支援
- ・ よろず支援拠点出張相談会
- ・ 岩手日報・47CLUBとの地域産業振興に関する連携協定
- ・ ビジネスマッチへの出展支援

■ 自治体等との連携

- ・ 地域経済活性化に向けた包括連携協定(北上市、西和賀町、金ケ崎町)
- ・ 養蚕イノベーション創出プロジェクト「モスラ復活大作戦」
- ・ 西和賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・ 日高見の国地域振興ファンド設立(北上市、西和賀町)



ビジネスマッチ東北



養蚕イノベーション創出プロジェクト
「モスラ復活大作戦」



きたしん次世代経営塾



若手リーダー強化セミナー



日高見の国地域振興ファンド設立



岩手日報・47CLUBとの
地域産業振興に関する連携協定



地域経済活性化に向けた
包括連携に関する取組み



創業セミナーの開催支援



経営者セミナー

地域社会への貢献



- 金融サービスを通じた取組み
 - ・きたしんローンプラザ開設(日曜 9時～15時、平日 15時～19時)
 - ・年金相談会の開催
 - ・「遺言の日」無料相談会の開催
- 地域の安心・安全に向けた取組み
 - ・特殊詐欺被害防止活動の実施
 - ・「北上市高齢者見守りネットワーク事業」への参加
 - ・認知症サポーター及びキャラバンメイトの養成
 - ・交通安全街頭指導
 - ・日本赤十字社岩手県支部北上市地区有功会への加入
 - ・ペットボトルキャップの回収(ワクチン寄贈団体へ寄付)
- 地域貢献活動
 - ・少年スポーツ大会等の開催・協賛(サッカー大会、野球大会、ソフトテニス大会等)
 - ・しんきんマネースクールの開催
 - ・北上市子ども創造塾事業「いきいきゲーム授業」へのサポーター派遣
 - ・「鬼っジョブ～北上おしごとパーク～」への参加
 - ・よいこのお絵かき大会
 - ・文化講演会の開催
 - ・西和賀町とのネーミングライツ・パートナー契約



きたしんローンプラザ



野球大会



ソフトテニス大会



鬼っジョブ～北上おしごとパーク～

地域環境の保全



- 金融サービスを通じた取組み
 - ・通帳レス口座の推進
 - ・環境に配慮したローンの取扱い及び金利優遇(エコカー、環境配慮型住宅等への対応)
- 環境に配慮した事業活動
 - ・電気・排気ガス・紙使用量削減の取組み
 - ・ペーパーレス化への取組み
 - ・当金庫廃棄物の再資源化
 - ・レジ袋(ビニール袋)の廃止
 - ・エコバックの配付
 - ・カレンダー包装紙として古紙を利用
 - ・クールビズ・ウォームビズの実施
 - ・地域の美化・清掃活動等の実施



「信用金庫の日」清掃活動

地元とともに



〒024-0094 岩手県北上市本通り一丁目5番30号
 TEL 0197-63-2307(代)
 ホームページアドレス <https://e-shinkin.net/>